

# 2010年チリ地震津波における避難行動に関する アンケート調査結果【速報版】

平成22年6月1日

岩手県総務部総合防災室  
岩手大学工学部附属地域防災研究センター

## 1. アンケート調査の目的

大津波警報発令(H22.2.28発生チリ地震津波)に伴い沿岸市町村が「避難指示」を発令したが、その際の**避難の実態について各地域の実情を把握するため**、沿岸地域住民を対象に地震津波における避難に関する**アンケートを実施し、対応を検証し、地震津波発生時における迅速な避難等、津波被害に対する防災力の向上に資するもの。**

## 2. アンケートの実施方法

対象地域： 沿岸地区市町村のうち、津波予警報による避難指示・勧告の発令対象世帯  
対象世帯数： 3,732世帯（沿岸全体31,635世帯の内数）

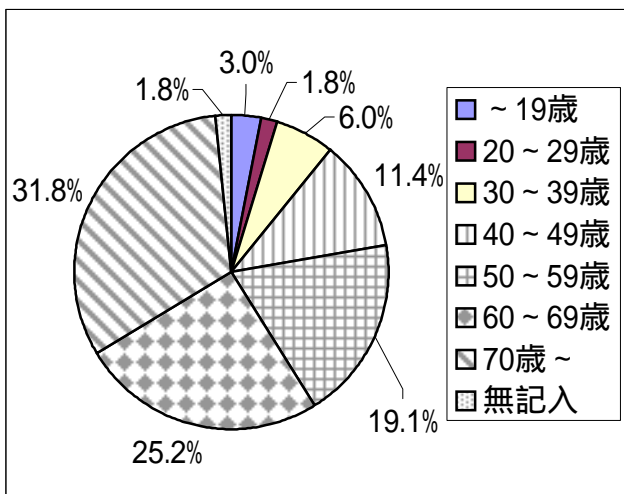
## 3. 調査分析における標本数、回収率等

	洋野町	久慈市	野田村	普代村	田野畑村	岩泉町	宮古市	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市	陸前高田市	合計
対象世帯数	192	3215	631	500	238	415	8011	3441	5418	6386	1788	1400	31,635
実配布数(a)	140	300	200	222	253	380	500	322	315	300	500	300	3,732
実回収数(b)	132	279	185	121	211	161	283	241	272	300	272	187	2,644
回収率(b/a)	94.3%	93.0%	92.5%	54.5%	83.4%	42.4%	56.6%	74.8%	86.3%	100.0%	54.4%	62.3%	70.8%
有効回収数	130	279	185	120	208	161	283	241	270	299	272	187	2,635

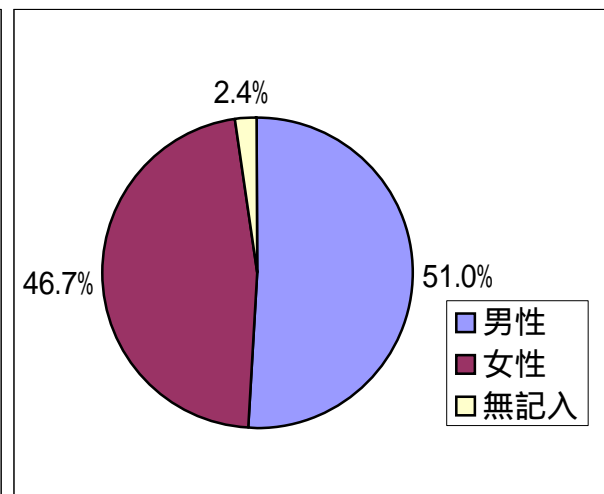
有効回収数とは、白紙提出や、回答拒否等を除いたものである。

また、アンケート回答者の年齢構成、男女比率は以下のとおりとなっている。

〔年齢構成〕



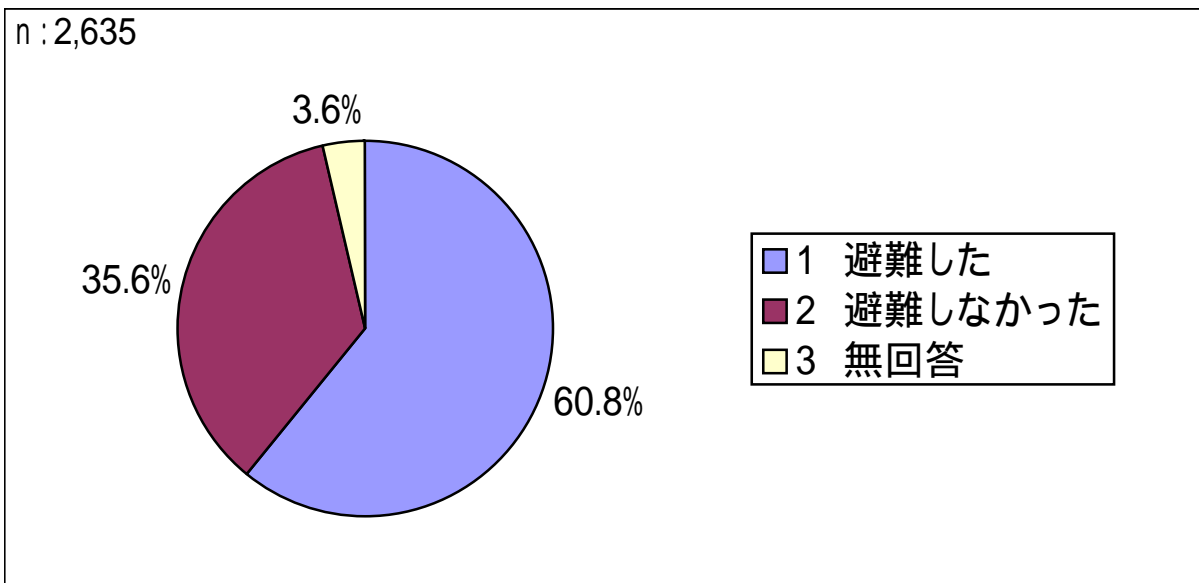
〔男女比率〕



**【問1】今年の2月28日チリ地震津波では避難しましたか？**

回答者全体のうち、「避難した」方(指定場所や、高台、親戚・知人宅など、津波の到達しない安全な地域に外出した方を含む)は、約6割であった。

	1 避難した	2 避難しなかった	3 無回答	総計	避難割合
洋野町	72	56	2	130	55.4%
久慈市	183	95	1	279	65.6%
野田村	103	79	3	185	55.7%
普代村	40	73	7	120	33.3%
田野畑村	135	64	9	208	64.9%
岩泉町	124	37		161	77.0%
宮古市	143	127	13	283	50.5%
山田町	141	82	18	241	58.5%
大槌町	141	108	21	270	52.2%
釜石市	177	117	5	299	59.2%
大船渡市	209	56	7	272	76.8%
陸前高田市	133	45	9	187	71.1%
12市町村計	1,601	939	95	2,635	60.8%

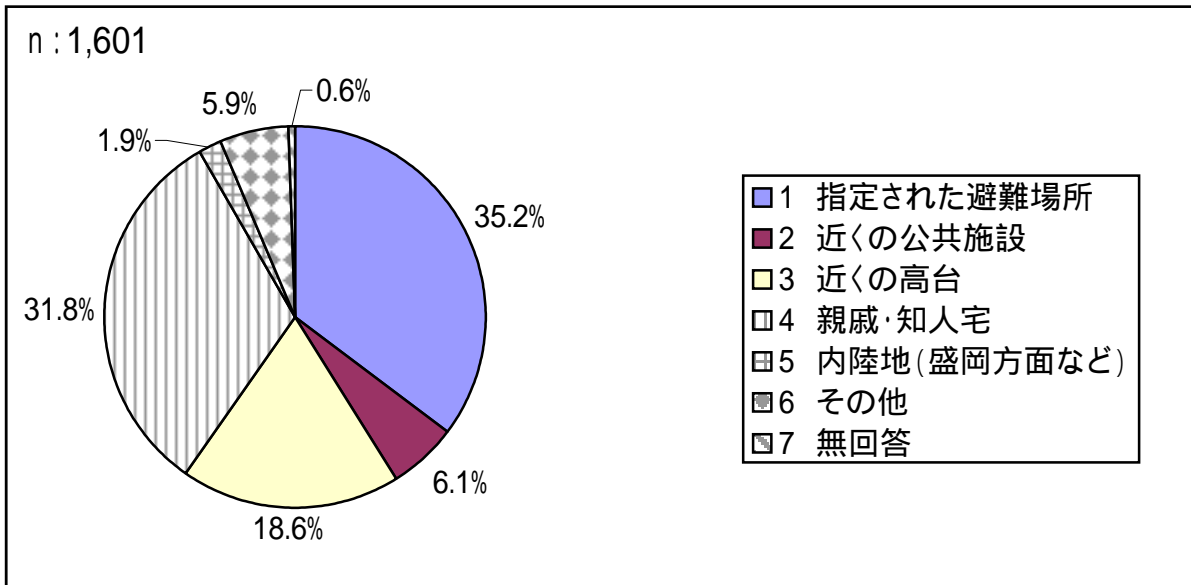


## 【問1で避難したと回答した人への質問】

### 【問2】避難した場所は？

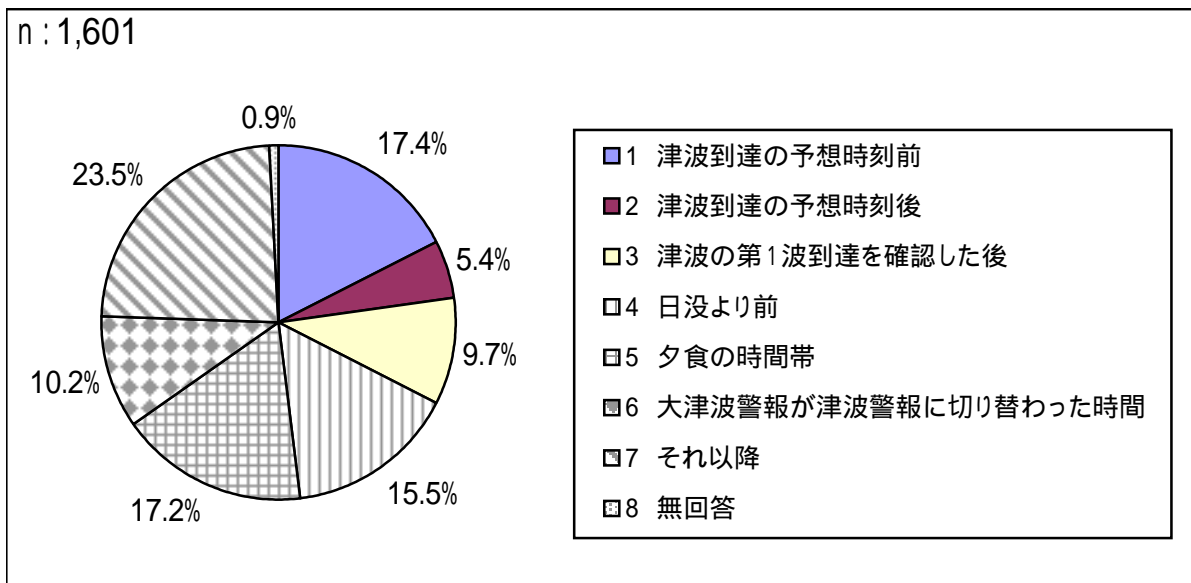
問1で避難したと回答した方のうち、「指定された避難場所」へ避難した人は3割台半ばであるが、一方で、3割強の方が「親戚・知人宅」に避難した。

「指定場所」以外へ避難等をした方が6割台半ばであり、「指定場所」へ避難した方の2倍近くであった。



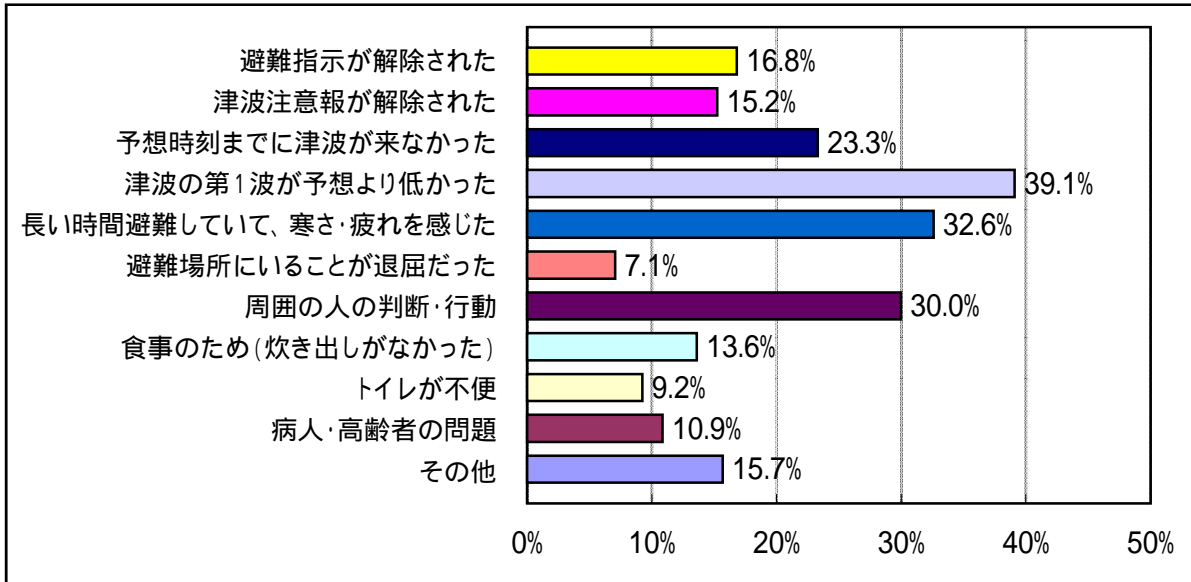
### 【問3】避難した場所から帰宅を始めた時間はいつ頃でしたか？

問1で避難したと回答した方のうち、津波の第1波を確認する以前に帰宅した方が2割強であった。



【問4】避難場所から帰宅を決めた理由は？（当てはまるもの3つを選択）

問1で避難したと回答した方のうち、帰宅を決めた理由として、「津波の第1波が予想より低かった」と回答した方が4割弱、「長い間避難していて、寒さ・疲れを感じた」と回答した方が3割強であった。

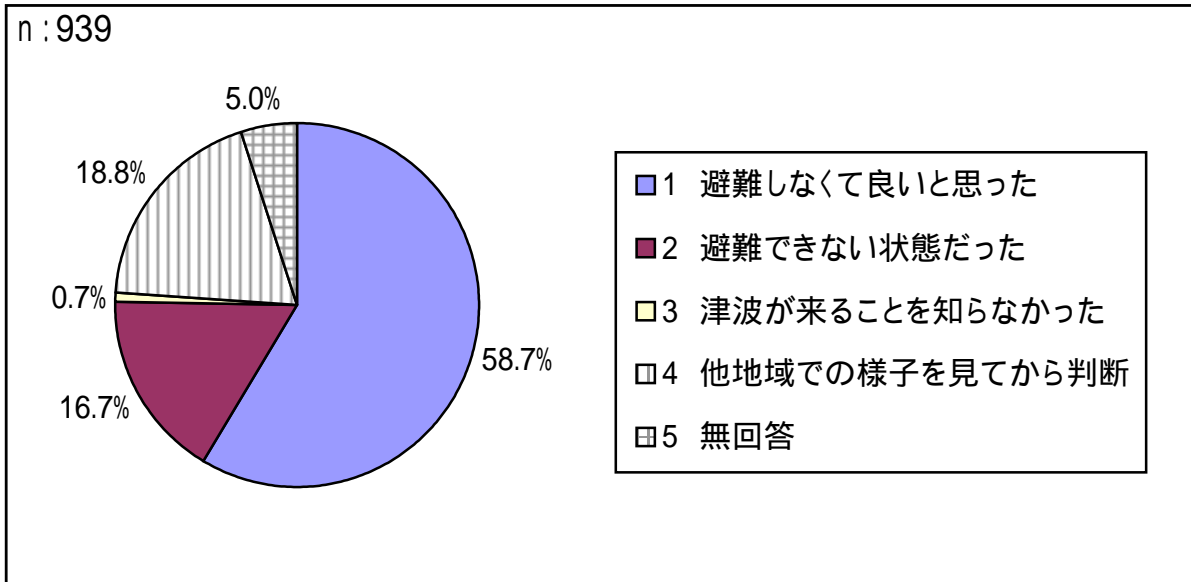


## 【問1で避難しなかったと回答した人への質問】

### 【問5】避難しなかった理由は？

問1で避難しなかったと回答した方のうち、6割弱が「避難しなくて良いと思った」と回答している。

一方で、2割弱が何からの要因により、「避難できない状態だった」と回答した。



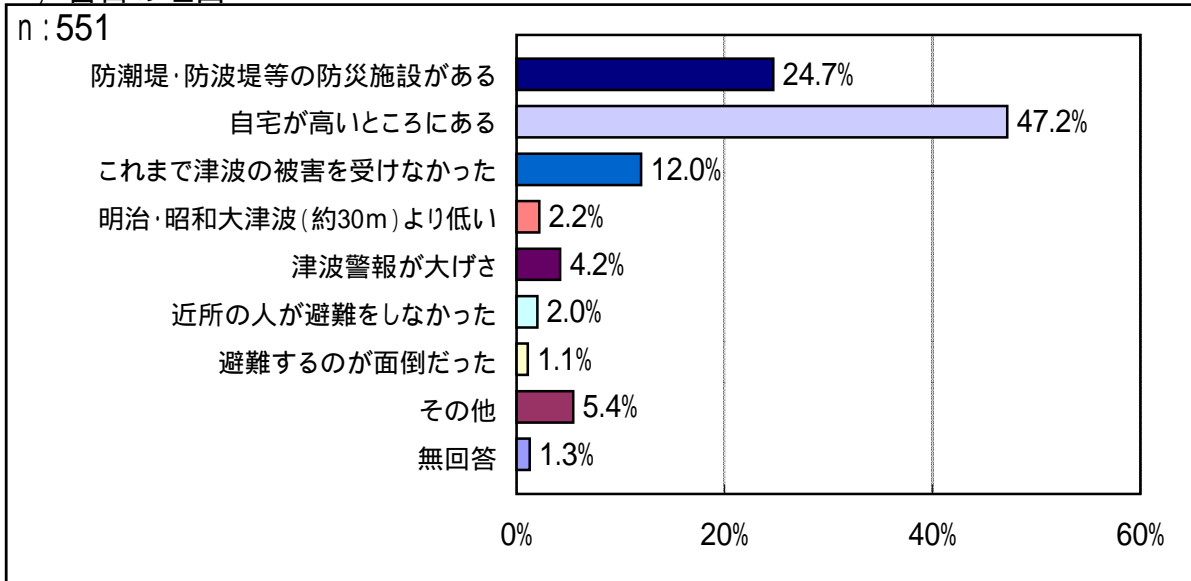
## 【問5で避難しなくて良いと思ったと回答した人への質問】

### 【問6】避難しなくても良いと思った理由は？

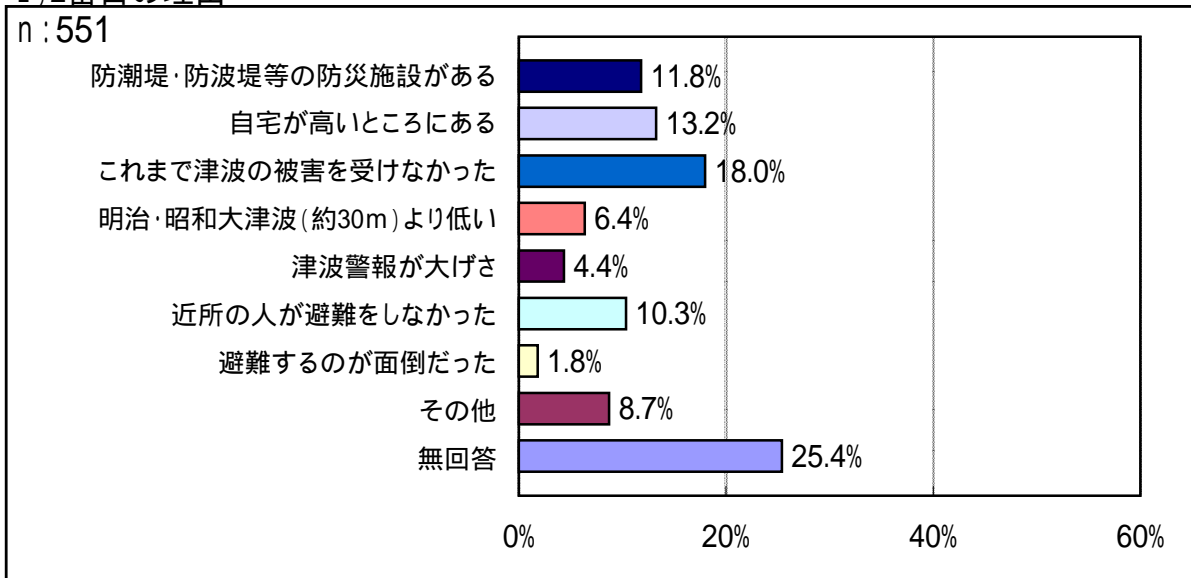
問5で避難しなくても良いと思ったと回答した方のうち、「自宅が高いところにある」、「防潮堤・防波堤等の防災施設がある」等、地理的要件を一番目の理由としてあげる人の割合が高かった。

一方、二番目の理由としては、「これまで津波の被害を受けなかった」と回答した割合が最も高くなった(無回答を除く)。

#### 1) 1番目の理由



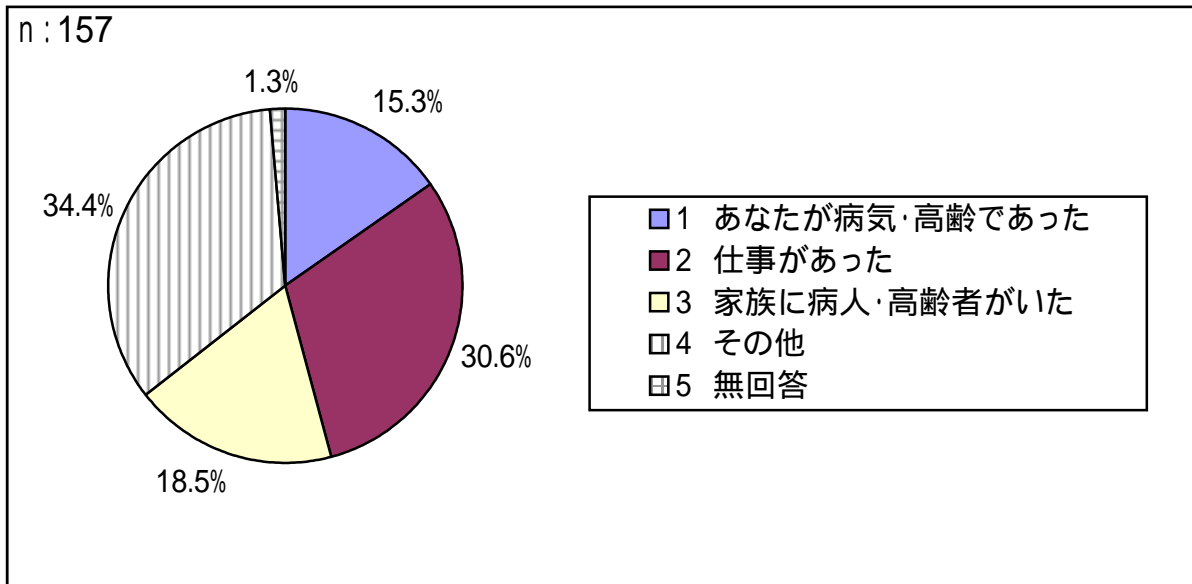
#### 2) 2番目の理由



【問5で避難できない状態であった回答した人への質問】

【問7】避難できない状態であった理由は？

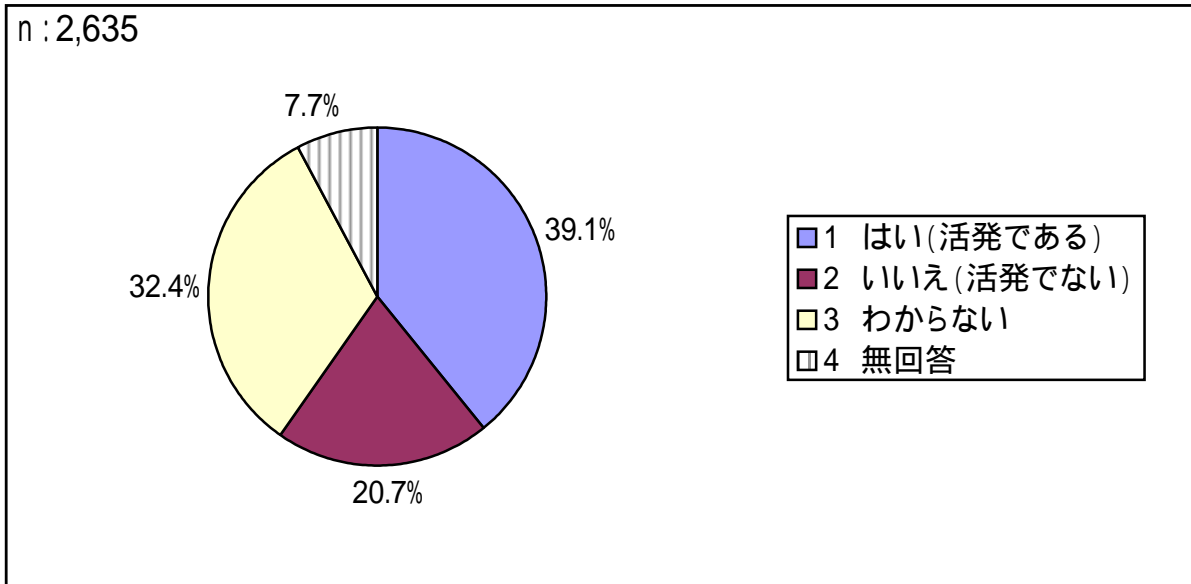
問5で避難できない状態であったと回答した方のうち、自分自身、家族が高齢・病気であったと回答した割合が3割強であった。また、仕事を理由に避難できないと回答した割合も3割強であった。



## 【全員の方への質問】

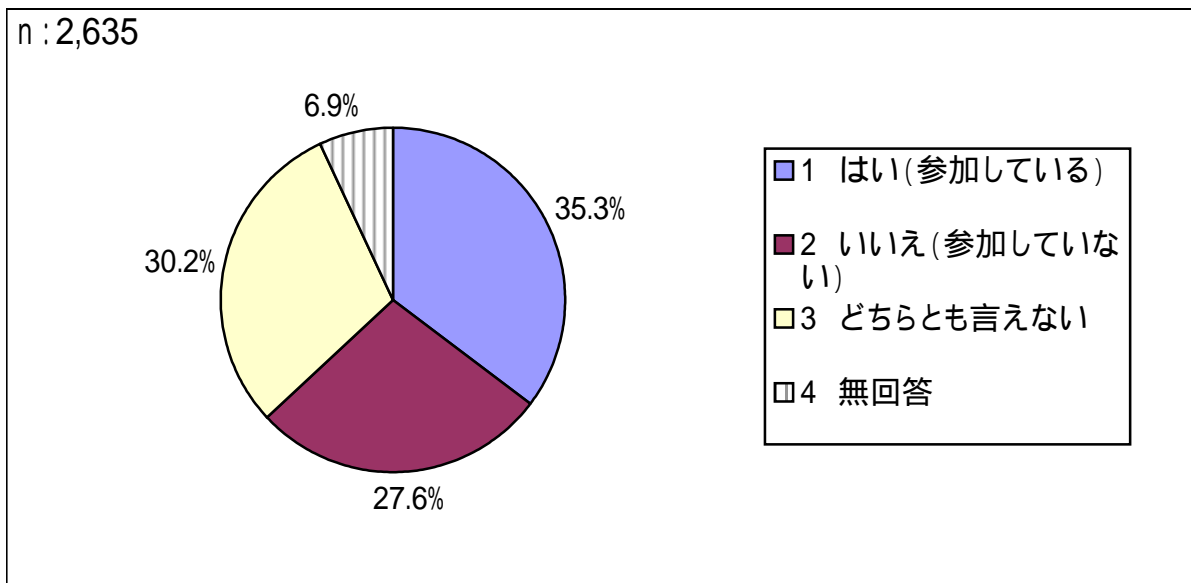
### 【問8】あななの地区での防災活動は活発と思いますか？

地区での防災活動が活発に行われていると回答したものが4割弱、活発でないと回答したものが2割強であった。



### 【問9】あなたは積極的に防災活動に参加していますか？

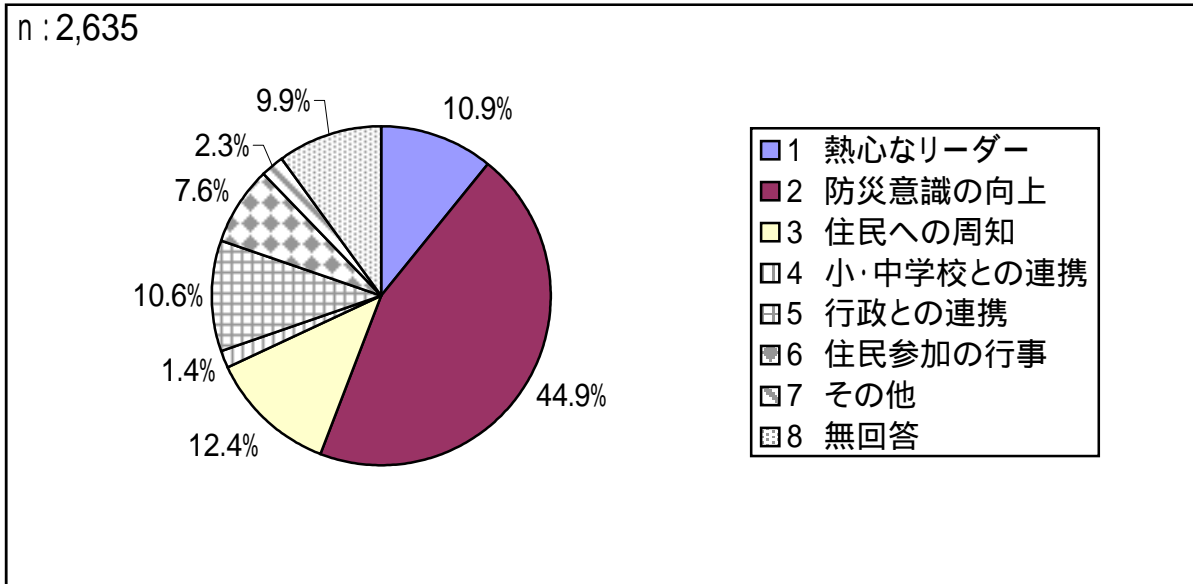
地区での防災活動に積極的に参加していると回答したものが3割台半ば、参加していないと回答したものが3割弱であった。





【問10】あなたの地区の防災活動をより活発にするためには何が必要ですか？

防災活動をより活発にするために必要な事項として、防災意識の向上と回答したものが最も多く、4割台半ばであった。



【問11】今後、三陸沖で津波が発生したときどうしますか？

今後、三陸沖で津波が発生したときに、地震が来たらすぐ避難すると回答したものが2割弱、大津波警報や避難指示、周囲の人が避難したら避難するなど、避難を促す要因がある場合に避難すると回答したものが5割弱であった。

